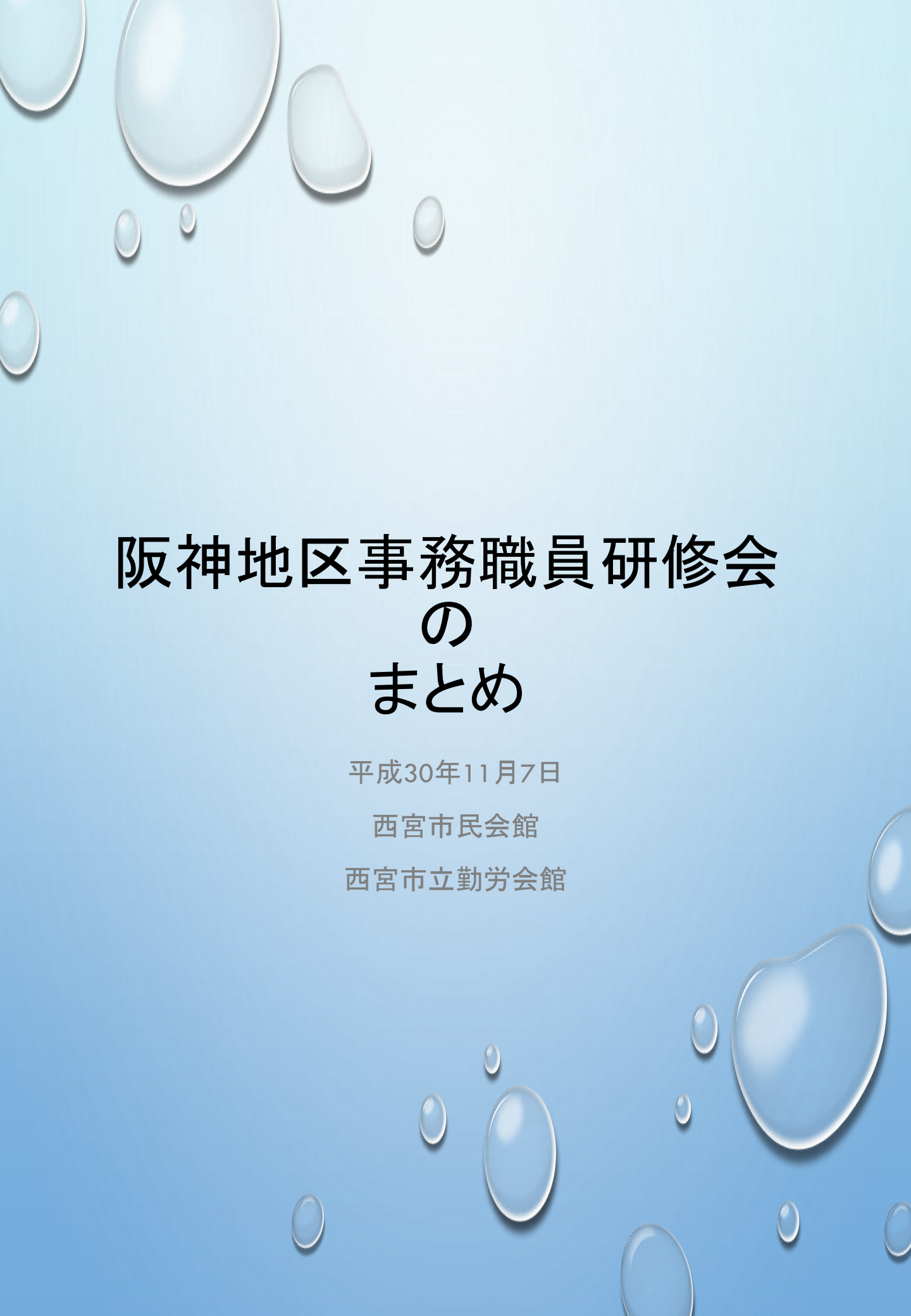


The background is a light blue gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across the surface. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

阪神地区事務職員研修会 の まとめ

平成30年11月7日

西宮市民会館

西宮市立勤労会館

全体会(講演)

「社会に開かれた教育課程」を実現する事務職員の役割

愛知教育大学 教育学部教育支援専門職 養成課程
教育ガバナンス講座 准教授 風岡 治 氏

社会に開かれた教育課程とは・・・

主体的・対話的で深い学びを実現していくために学校教育を学校内に閉じずに社会と連携しながら進めていくものである。

事務職員の役割としては学校マネジメント機能の強化、教員の事務負担の軽減、人的・物的な教育条件整備を通じて教育課程を教員とともに実現していくことが求められる。

また学校や地域を「つなぐ」役目も担っていく。これらを実行するうえでメリットとリスクを伴うが上手く調整しながら進めていく必要がある。



研修Ⅰ

リスクマネジメント研修～信頼される学校づくりにむけて～

ベーシック(若年層)とマスターズ(ベテラン層)の混成で、30班を編成し、学校の危機管理について考察を深める研修を行いました。マスターズは、昨年に引き続きのテーマであり、ベーシックへの知識と知見の伝達も研修のねらいです。



研修Ⅱ

新学習指導要領を理解して、私たち学校事務職員のかわりをみつけよう

アドバンス(ミドルリーダー層)が12班を編成し、ブレインストーミングやポスターセッションで研修を深めました。解が見つけないテーマでしたが、具体的な活動や方向性がみつけられました。最後に、講師の風岡先生に講評をいただきました。



研修Ⅰ

本文と写真は関連がありません。

自然災害

<リスク>

台風・・・倒木、施設破損(ガラス天井等)、飛来物
地震・・・備品落下、転倒
交通遮断、停電、浸水、雨漏り、雨水吹き込み、積雪

<対応策>

備品固定、危険物除去
危険事項の情報共有、安全点検(事前事後)
保護者地域との連携、安全マニュアル
シュミレーション、訓練
破損状況の即対応、日常的な見回り点検(校内外)
教委・行政との連携

施設設備

<リスク>

老朽化による破損(コンセント、天井、プールサイド、遊具・・・)事故につながるおそれのある箇所
固定備品落下、破損

通学路の危険箇所(樹木の未伐採、)

校外への影響(例:野球部の打球オーバー)

<対応策>

迅速な修繕
安全点検、ヒヤリング
教委・行政との連携、地域との連携
児童生徒への安全指導

学校事故

<リスク>

施設・備品の破損等、有事に必要なものが使えない
AED未設置
備品の使用方法誤り
施設不備(窓柵不設置等)
動線不良(廊下階段にモノがおいてあるなど)
動物、昆虫被害

児童生徒の繰り返されるけが

職員疾病、予測できない子どもの行動起因
医療事故(配慮不足、危険予知不足、思い込み)

<対応策>

専門的な業者点検と対応
対応訓練、安全点検、情報共有(不良箇所や対策)
教委・行政との連携
教職員研修

児童生徒への安全指導

危険表示

事故予測

起こったことの原因解明

複数対応、児童生徒理解

インシデント蓄積



個人情報等

<リスク>

個人情報紛失、亡失、流出
電子データの置き忘れ
ウィルス

<対応策>

ルールづくり
表示や報告注意、喚起
個人情報などの職員研修



防犯

<リスク>

不審者の侵入
児童生徒の校外飛び出し
未登校

<対応策>

来校者管理
(名札、記帳、声かけ)
インターホンなど機器操作研修、閉門扉
地域の協力
出席状況(不在も)の見える化、教職員の情報共有
マニュアル、職員研修



研修Ⅱ

ポスターセッションに挑戦！

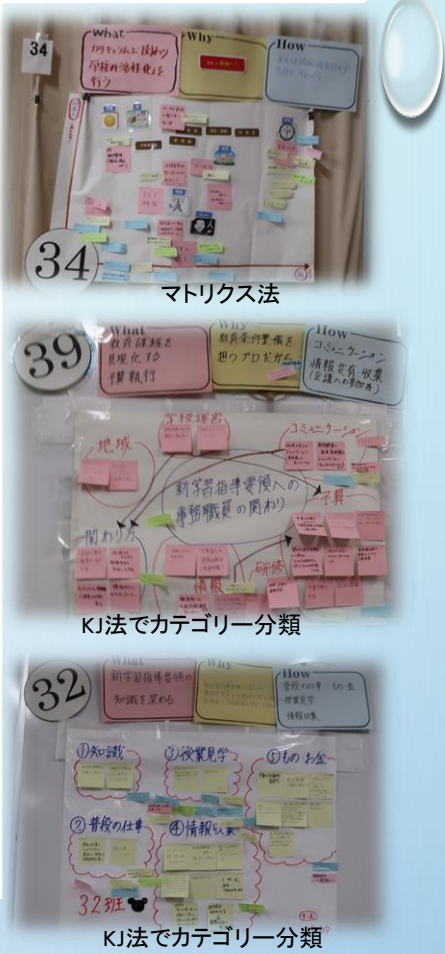
初めての研修手法を取り入れました。発表者が参加者を前にプレゼンや質疑応答をします。



研修Ⅱ・・・事務職員のかかわり

What(何をするか)	Why(なぜそれを選んだか)	How(どのようにするか)
学校の活性化	コーディネーター的な存在を求められているから	相談しやすい環境をつくる
新学習指導要領の知識を深める	事務室から主体性を持って計画し財務面で学校現場をサポートするため	普段の仕事 もの・金 授業見学 情報収集
教材整備	普段から予算執行に関わっているから	予算の確保 計画的な購入 情報共有
カリキュラムに関わり学校の活性化を行う	参画 ⇒ 参加へ	まずは時間的なゆとりをつくり それから...
コミュニケーション	環境整備のために	知ることから始める
コミュニケーション	チーム学校の一員として...	ゆうき(勇気?・言う気?)をもって
知識・情報を得る	提案・発信するため	連携と意識改革
コミュニケーション	チームだから	高めのアンテナ
教育課程を具現化する予算執行	教育条件整備を担うプロだから	コミュニケーション 情報共有収集(会議への参加等)
意識改革	固定観念	授業参観 情報発信
備品・消耗品の購入・活用	新学習指導要領にシフトしていくため	新学習指導要領を理解する 職員とのコミュニケーション 会議への参加 授業参観
予算について 情報の収集と共有	一番関わりが深く改善の余地が多いから	現状の把握⇒情報の収集・共有⇒計画的な予算の策定・執行

いろいろなフレームワーク紹介



会場がせまく、また何度も移動していただきました。ご協力に感謝します。

阪神地区別研修のこれから（3年間を見据えて）

- ☆全体研修+グループワーク を基本とします。
- ☆3つの経験層で研修を行います。
ベーシック(若年層)、アドバンス(ミドルリーダー層)、マスターズ(ベテラン層)
- ☆グループワークは、異経験層の混合も取り入れます。
テーマは、次年度に継続し、論議の深まりと伝え合いの活動を重視します。

【2018】

ベーシック+マスターズ
「リスクマネジメント研修」
アドバンス
「新指導要領を理解して、
私たちのかかわりをみつけよう」

【2019】

ベーシック+アドバンス
「新指導要領を理解して、
私たちのかかわりをみつけよう」
マスターズ
「テーマ○○」

【2020】

アドバンス+マスターズ
「テーマ○○」
ベーシック
「テーマ◇◇」

次年度は、ベーシックとアドバンスで、新学習指導要領のかかわりについてさらに深めます。
マスターズは、新たなテーマの研修を行います(テーマ未定)。お楽しみに。